

みどりかがやく

1年間を見通し確かな力の育成を

冬から春に咲いたノースポールとパンジーは校舎裏の花壇に移植しました。校舎前の花壇に、学校で作成した腐葉土を入れ元肥を施し、マリーゴールドと、昨年度の卒業式でプランターに入れ壇上に飾った、ペチュニアを植えました。ペチュニアは切り戻しをしたので、今は花が少ない状態です。しかしながら、適切に管理をすれば、11月まできれいな花を付けてくれるはずです。



校舎前の花壇のペチュニアとマリーゴールド

6月から分散登校が始まりました。マスク着用や石鹸による手洗いの励行など、新しい日常を意識しながらの再開ではありましたが、現在では、ほぼ通常の学校生活を送れるようになりました。部活動も始まり、1年生はこれから仮入部を経て、本入部となります。運動部の3年生にとっては、最後の大会である学校総合体育大会が今年度は行われませんでした。3年生は期末テスト前の部活動停止期間の前日、7月10日（金）をもって引退となります。3年生の生徒には気持ちを入れ替えて歩みを進めてほしいと思います。期末テスト後は、2年生が部活動の中心となり、1年生は7月21日（火）から朝練習が始まります。部活動だけではなく、普段なら当たり前に行っている係活動や委員会活動も、これから本格的な活動となります。おそらく、私たち大人だけでなく、どの生徒も「当たり前の日常」がどれだけ大切であるかを意識できたのではないかと思います。

例年ならば、この時期は、部活動や係活動、委員会活動などがスムーズに動き出しています。運動部であれば、県大会に出場する部の壮行会が行われ、生徒・教職員から祝福を受けていたはずですが。しかし今は、5月頃に時間がもどって、やり直しをしているような印象をもっています。それでも、生徒たちには今を楽しんで、前向きにとらえてほしいと思います。切り戻しをしたペチュニアが、さらにたくさんの花を付けるように、一つ一つのことを丁寧に取り組んで、多くの力を身に確実に付けてほしいと思います。

学校は学習するところです。昨年度の未履修分が終わり、やっと現在の学年の内容に入る教科もあります。今年度の1年間を見通し、文部科学省が表す教育課程に示された内容を確実に実施するとともに、生徒の理解を図り、確かな学力を身に付けることができるよう、それぞれの教科等における学習を進めていきたいと考えます。